



日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄

主日勤務 執事 クラウ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail:st-andrew.tko@nssk.org HP:www.st-andrew-tokyo.com

大齋節第4主日（紫） 2025年3月30日

礼拝案内

＋午前7時30分 聖餐式

（午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い）

司式：司祭 卓志雄

説教：司祭 卓志雄

聖歌 15 331 474

＋午前9時15分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：司祭 卓志雄

聖歌 15 331 474

（午前10時10分 礼拝奉仕者の祈りの集い）

◇午前10時30分 大齋プログラム

「聖餐式における役割の再確認」卓志雄司祭

＋午前10時50分 聖餐式・洗礼式・受け入れ式

司式：司祭 卓志雄

入堂聖歌 15

参入 1頁（162頁）

清めの祈り 1頁（162頁）

日本聖公会への交わりへの受け入れ式（別紙）

キリエ 3頁（163頁）

特祷（大齋節第4主日）

み言葉

旧約聖書 ヨシュア記 5章9-12節

詩編 第32編

使徒書 コリントの信徒への手紙 二

5章16-21節

福音書前聖歌 539

福音書 ルカによる福音書 15章1-3,11b-32節

説教：司祭 卓志雄

洗礼式聖歌 274（前）1,2,3（後）4,5節

洗礼式 別冊『入信の式』

ニケヤ信経 9頁（166頁）

代祷（週報2面）

12頁（168頁）

懺悔

13頁（170頁）

聖餐

平和の挨拶

15頁（171頁）

奉献聖歌

331

奉献

15頁（172頁）

感謝聖別

16頁（173頁）

陪餐

24頁（180頁）

陪餐聖歌

244

感謝

28頁（182頁）

祝福

28頁（183頁）

派遣

退堂聖歌

474

＋午後5時 夕の礼拝

司式：執事 佐久間恵子

聖歌 452

詩 19,46 創 48:8-22 マコ 8:11-21

礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画で配信されています。

（映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。）

※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。

※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後（10分程度）は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。

※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。

※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。

※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に進みます。

※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐（聖体拝領）を許可し歓迎します。

※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通って席に戻ります。

※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。

※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声をおかけください。

本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、クララ 佐久間恵子執事、トマス 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

小金井聖公会、モニカ会、

東京教区 GFS

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)]

主教 J.マキム主教 逝去記念日 4/4

主教パウロ斎藤茂樹主教逝去記念日 3/30

新年度を迎え、北関東教区内各幼稚園・認定こども園の働きのため

[日本聖公会 (首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

ボルチモア 聖アンデレ会

ボルチモア 聖ジョージ聖マタイ教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

アシュラフィ 聖パウロ教会

[全世界の聖公会]

コンゴ聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

日本キリスト教文化協会

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエルを導き、み名を呼ぶ

者を主の真理と愛のうちに一致させ日々主の

栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに中東やウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の

人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください

互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、

入信を希望している人々、洗礼、堅信、初陪餐、

結婚の準備をしている人びと、本日、洗礼、初陪餐にあずかる人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人々、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと(浅草聖ヨハネ教会日曜給食活動、聖公会野宿者支援活動・渋谷)、

3月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、

ことに東京教区神学生(教区会決議)、いのちの電話(いのちの電話、東京多摩いのちの電話、東京英語いのちの電話)、聖公会東京311ボランティアチーム(聖公会東京311ボランティアチーム)、ぶどうのいえ(守口ぶどうのいえ、ぶどうのいえ福岡、京都ぶどうのいえ)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<お知らせ>

害のため困難な状況にある人びと、
住む場所を追われた人びと、
自由を奪われ拘束されている人びと、
戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、
主の救いの喜びに導いてください
会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>

代祷者 神よ、世を去ったすべての人、ことに
それぞれが覚える逝去者

[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]

暴力や犯罪、災害の犠牲となった人
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ國
の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト
によってお願いいたします アーメン

◇ 聖堂の様子は動画配信されています。聖アンデレ教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。また主日・週日の礼拝は、上の動画配信の他、礼拝電話(03-3431-0250)で音声を聴くことができます。

◇ 聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。

聖アンデレ教会広報チャンネルで検索

◇ 聖アンデレ教会フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。フェイスブックで **聖アンデレ教会**で検索

◇ 本日 10 時半の聖餐式中、日本聖公会への受け入れ式、洗礼式が行われます。

◇ 本日の大齋プログラム
「聖餐式における役割の再確認②」卓志雄司祭
どうぞご参加ください。
次主日は、3月23日に集められたアンケート疑問に答える「今こそ聴こう一礼拝について②」です。ご予約ください。

◇ 次主日、しゅろの十字架作りをいたします。ご協力ください。(できればハサミをお持ちください。)

◇ 聖週・復活日の礼拝については、追ってご案内をお送りします。

◇ 4月13日はオルバン教会と合同で、駐車場で棕櫚の祝別、行進を行います。自動車での来会はなるべくお控えください。

◇ 東京教区から「2025年み言葉と歩む大齋節」が発行されました。東京教区のHPでご覧いただけますが、教会の入り口にも置いてありますので必要な方はお取りください。毎日み言葉を分かち合いましょう。

◇ 聖アンデレ教会のピンバッジができました。感謝献金として1つ¥500以上お願いいたします。

◇ 葬儀のしおりとエンディングノートを配布しています。ご希望の方はお取りください。

◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご遠慮なくご連絡ください。

◇ 聖堂の扉は、日中(朝7時頃から夕方5時頃・礼拝時間を除く)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。

◇ 礼拝後の黙想のあと、有志での聖堂のお掃除をしています。清掃後の座席の整列にもご協力をよろしくお願いいたします。

毎主日 10 時半の聖餐式での

「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を信徒の皆さんで分担しませんか ――

み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、結婚記念日、誕生日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕くださいますようお願いいたします。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。よろしくお願いいたします。

本日・今週の予定

3月30日(日) 大斎節第4主日
 7時半 聖餐式
 9時15分 こどもとともにささげる礼拝
 10時半 大斎プログラム
 「聖餐式における役割の再確認」卓志雄司祭
 10時50分 聖餐式・洗礼式・受け入れ式
 17時 夕の礼拝

・13時 一の会
 ・18時 聖アンデレ教会の前庭ならびに
 西側崖地整備を推進するための検討委員会

4日(金) 7時半礼拝
 知 2:1,12-22 詩 34:15-22 ヨハ 7:1-2,10,25-30

卓司祭在室(午前)

31日(月) 7時半礼拝
 イザ 65:17-21 詩 30:1-6,9,12-13 ヨハ 4:43-54

卓司祭在室(午後)

5日(土) 7時半礼拝
 エレ 11:18-20 詩 7:1-2,9-11 ヨハ 7:40-52

・しゅろの葉採り

4月1日(火) 7時半礼拝
 エゼ 47:1-9,12 詩 46:1-8 ヨハ 5:1-3,5-16

卓司祭在室(午後) ・10時 英会話クラス

6日(日) 大斎節第5主日
 7時半 聖餐式・洗礼式
 9時15分 こどもとともにささげる礼拝
 10時半 聖餐式 聖歌 125,508,358,251,336
 イザ 43:16-21 詩 126 フィリ 3:4b-14 ヨハ 12:1-8
 17時 夕の礼拝 聖歌 517
 詩 145 出 3:16-4:12 マコ 8:31-9:1

・礼拝後 大斎プログラム・今こそ聴こう・礼拝について②
 ・しゅろの十字架作り ・13時 BS入隊・上進式
 ・15時 埋葬式

2日(水) イザ 49:8-15 詩 145:8-17 マタ 5:17-30

10時半 聖アンデレ教会4月レクイエム
 (聖歌 434, 436, 513)

・13時半 聖書に学ぶ会

3日(木) 7時半礼拝

今週のメッセージ

ユダヤ人の律法によると、長男は父が死んだら財産の3分の2を相続します。次男は3分の1だったそうです。また父が生きていたとしても病などによって実際財産を管理することができないときには相続が可能であったそうです。しかし今日の福音書では父が相続しようとしなかったし、病ですぐ亡くなりそうでもなかったのに弟は無理矢理にお父さんに「財産の分け前をください」と言います。この言葉は「どうせお父さんが死んでしまったら財産の3分の1はわたしのものになるし、死んでから相続してもらっても、生きてるとき相続してもらってもあまり変わらないだろう」のような態度で財産の3分の1をもらって家出します。今日わたしたちが考えなければならないことは「お父さんは生きているにもかかわらず、死んだように扱っている弟の態度」です。

わたしたちは「神様は生きている」「神様は聖なる方」「尊い存在」だと考えていながらも、本当に神様は生きているということを体験せずに過ごしているのではないのでしょうか。聖書を読んでも何の感動もない。聖餐式でパンとワインに与っても御体、御血だという感覚がない。日常生活が生きている神様によって支えられ、生かされているにもかかわらず感謝と喜びがない。というのはこの弟が生きている父を死んだように扱ったことと変わらないかもしれません。一人ひとりに対して具体的な計画をもっておられる人格的な方、わたしたちといつも共に歩んでおられる方、わたしたちの営みを導いてくださる方である。生きている神様は、様々なしるしを通して「わたしは死んでいない。生きているんだよ」と教えています。

まず、神様は聖書を通してご自分は生きていると語っています。そして生きておられる神様が私たちのそばにおられることが分かる方法は聖奠(サクラメント)です。目に見えない神様の恵みを目に見えるしるしとしてイエス・キリストが自ら定められたしるしです。過去の自分を捨てて、すべての罪が許され、新たな命が与えられる洗礼です。そして聖餐式です。御体、御血に与えることを通して2千年前イスラエルで行われたイエス・キリストの死、復活、昇天を記念して、「今」「ここで」思い起こし、わたしたちの経験として再現し、派遣されて行くことです。またキリスト者として福音を証し、世界、社会の必要に応え仕え、交わることを通してこの世の中に神の国を実現していくための、最も根本的な務めでありキリスト者の原点であると言えます。

最後に、出会いを通して生きている神様が共におられることがわたしたちには分かります。神様は常に私たちにみ言葉を通して語りかけています。しかしそれは直接聞こえる声というよりも、むしろ様々な人々との出会い、出来事を通して語りかけてくるのではないのでしょうか。そのことを意識し、一つ一つの営みの中に主の声を聞く耳を、感じる心を大切にしたいと思います。そして神様に会い、神様の愛を実感していく中で、その愛を私たちが伝えていくこと。愛を分かち合うこと。それが『宣教』の第一歩となっていくのではないのでしょうか。

(司祭 卓志雄)